

National
Parks
of Japan



宿舎事業を中心とした 国立公園利用拠点の魅力向上の検討について

民間提案を取り入れた国立公園の面的な魅力向上に向けて

- 2016年から、「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、**国立公園満喫プロジェクト**を推進。
- インバウンド再開を見据え、**国立公園の利用の高付加価値化**に向けて、2023年1月に新たに検討会を設置し、民間提案を取り入れた国立公園利用拠点の面的な魅力向上に取り組中。

- ・ 検討会における実施方針・スキーム等の検討 (2023年1～6月)
- ・ 民間事業者・自治体ヒアリング

- ・ 実施方針を踏まえ、候補地を抽出
- ・ サウンディング調査等により方向性・実現性を検討し、モデル地域を**1～2カ所**決定 (2023年度末予定)

2024年度～

面的再生をパッケージで実施

(イメージ図)

快適な利用空間



(廃屋撤去・再整備)

民間提案による整備

(例. 上質なホテル等)



アクティビティ



自然環境保全



国立公園のPR



国立公園
オフィシャルパートナー

相互連携

相互連携

民間提案⇒

マスタープラン作成 (環境省・地域・民間)

公園計画等へ反映

公募による
初の試み

民間の発想を生かした国立公園の拠点の磨き上げ、官民による集中的な取り組み実施

宿舎事業を中心とした国立公園利用拠点の面的魅力向上検討会

国立公園満喫プロジェクト有識者会議の下に設置し、高付加価値な宿泊施設の誘致を中心に、官民連携による国立公園利用拠点の面的魅力向上についての基本的な考え方、モデル地域の選定の考え方、事業スキーム等の実施方針をまとめる。

◆検討会の構成

- 座長 **涌井 史郎氏** (東京都市大学特別教授)
- 有識者 **下村 彰男氏** (國學院大學 教授)
- 加藤 久美氏** (和歌山大学 教授)
- 藤木 秀明氏** (東洋大学大学院 客員教授)
- 行政関係者 **田中 明氏** (高山市長)
- 民間事業者 **友井 俊介氏** (一般社団法人不動産協会リゾート事業委員会委員長、東急不動産株式会社 ウェルネス事業ユニットホテル・リゾート開発企画本部 執行役員本部長)
- 観光関係者 **大西 雅之氏** (鶴雅ホールディングス株式会社 代表取締役社長グループCEO)
- 永原 聡子氏** (Deneb株式会社 共同創業者・代表取締役、アトリエラパズ株式会社 代表取締役)
- オブザーバー 観光庁、林野庁

◆ 検討会スケジュール ※対面・オンライン併用、公開 ※別途、個別に事業者ヒアリングや自治体説明会を実施

日程	会議名	内容
2023年1月30日	第1回検討会	検討会設置、現状と課題、ゲストプレゼン(観光庁・東急不動産株式会社(友井委員)・三井不動産株式会社)、論点
2月10日	第2回検討会	ゲストプレゼン(永原委員、大西委員、星野リゾート株式会社、ペイシャンス・キャピタル・グループ株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社Kiraku)、論点
3月14日	第3回検討会	ゲストプレゼン(岐阜県高山市(田中委員)、北海道弟子屈町、株式会社地域経済活性化支援機構、株式会社ナル・デベロップメント/株式会社Staple、株式会社Zen Resorts)、論点、事業スキームの方針、実施方針(骨子案)
3月29日	国立公園満喫プロジェクト有識者会議	検討会の報告
5月	第4回検討会	ゲストプレゼン、事業スキーム案、実施方針案
6月	第5回検討会	実施方針の決定

宿舎事業を中心とした国立公園利用拠点の 面的魅力向上に関する論点について

<p>論点①</p>	<p>【国立公園スケールでの論点】 国立公園の利用の高付加価値化は何を目指すのか。どのような体験価値を提供するのか。</p>
<p>論点②</p>	<p>【利用拠点スケールでの論点】 利用拠点の魅力向上において、地域との連携をどのように進め、どのような取組を行うべきか。</p>
<p>論点③</p>	<p>【宿泊施設スケールでの論点】 利用拠点の核となる宿泊施設に期待される役割は何か。どのような宿泊施設が求められるか。</p>
<p>論点④</p>	<p>本事業のモデル地域の選定における考え方は何か。</p>
<p>論点⑤</p>	<p>モデル地域等における事業スキームの方針は何か。</p>
<p>論点⑥</p>	<p>モデル地域等において、環境省が取り組むべき事項は何か。</p>

実施方針の骨子案について

実施方針の位置づけ

- 宿泊事業を中心とした国立公園利用拠点の面的魅力向上に関する取組をモデル地域において実践するための実施方針。

実施方針の骨子案

1. 背景・経緯、現状と課題
2. 目指すべき方向性
 - ・国立公園の利用の高付加価値化とは何か
3. 基本的な考え方
 - ・スケールの観点
 - ・保護と利用の好循環・サステナビリティ
 - ・宿泊施設と自然体験アクティビティの連携
 - ・官民連携
3. 基本的な方針
 - ①既存エリア・施設の再生・上質化（集団施設地区等の再生）に関する取組方針
 - ②国立公園の魅力を発信する新たな宿泊体験の充実に関する取組方針
4. モデル地域の選定の考え方
 - ・広域的な観点（広域連携・ストーリー）等
5. 事業の実施プロセス
 - ・候補地の抽出
 - ・候補地における方向性等の検討
 - ・モデル地域の決定
 - ・モデル地域における事業実施
6. 事業の推進枠組み
 - ・国立公園満喫プロジェクト地域協議会
 - ・利用拠点を中心とした協働体制
 - ・基本構想
 - ・利用拠点のマスタープラン